

なかじょう新発田 news

2月号 vol.90

2月になりましたがまだまだ厳しい寒さが続き、暖くなるのが待ち遠しい時期となりました。当施設では消防訓練やハザードマップの講習を行いました。消防訓練の目的は、火災などの災害発生時の被害を最小限に抑えることを目的としており、初期消火や避難誘導、通報などの訓練を通じて、災害時に最適な行動がとれるように防災対策などを改めて皆さんで確認しました。訓練は人命を守るための必要な知識や技術なのでぜひ皆さんも他人事とは思わずにしっかりと知識と一緒に身につけていきましょう！

初期消火の説明



ハザードマップ確認



～デイサービス空き状況～

○：空きあり △：2～3人空きあり

	月	火	水	木	金
午前	△	○ 男性が多い	○ 女性が多い	△ 女性が多い	△ 女性が多い
午後	○ 男性が多い	△ 女性が多い	△	○	△ 男性が多い

見学・体験会は随時おこなっていますのでお気軽にご連絡ください。

リハデイなかじょう新発田 TEL.0254(24)1818

Report

ご利用者様の声 ○様 80歳

課題：脳梗塞後遺症から活動量の低下がある。ベッドで過ごす時間が
増えたことから、筋力・体力低下また頻回の転倒が起きている。

留意点：左片麻痺があり、患側のすり足歩行や易疲労感が目立つため、
転倒に注意が必要。

個別訓練：自重を用いたトレーニング、関節可動域訓練、日常生活動作訓練

脳梗塞後遺症により左片麻痺が残存しており、患側下肢のすり足歩行が顕著にみられていました。方向転換時の転倒が増えており、転倒の不安から外出機会が減少していました。

訓練内では自重を用いたトレーニング、関節可動域訓練、日常生活動作訓練を実施しております。

利用開始時に比べ、すり足歩行の改善がみられており、自宅内での転倒頻度が減少してきています。ご自身でも効果を実感されており、移動動作への不安が徐々に緩和している様子が見られております。

機能訓練指導員 井上遥平



- 自宅で過ごしている時に躓きににくくなった。
- 少しずつ体操についていけるようになってきたので
続けていきたい。



関節可動域訓練



セルフケアの提供

今後の
目標

・自宅近くの公民館まで散歩に出ることができる。